

7月31日 ソフィアさんコンサル

モニター講座までにやることの整理

講座そのもののブラッシュアップ（内容面）

① 「初回講座のゴール」を明確化

- モニター受講は、完璧さよりも「参加者が感動 or 気づきを得ること」が最優先。
- 受講後に「今日受けよかったです！」と言わせるためには、
 - 1回目で得られる変化
 - 帰宅後に「やってみよう」と思う1つのアクションを明確にする。

② 1スライド1メッセージで整理

- 90%完成しているスライドは、初回提供前に情報を削ぎ落とす作業が重要です。
- 受講者は「最初から理解できる」よりも感覚的に納得できることが大事。
- 特にモニターは細部よりも、ストーリー感と学びの“気持ちよさ”で満足度が決まる。

③ ワークを丁寧に設計

- 初回講座は体験・成功体験を入れると満足度が跳ね上がる。
- ワークは次の3要素を意識：
 - 手順がシンプル（3ステップ以内）
 - すぐに小さな変化を感じられる
 - シェアの時間を入れる（受講生が自分の気づきを言語化できる）

受講体験のブラッシュアップ（運営面）

① オープニングの設計

- モニター受講は緊張しやすいので、最初の5分で場を温める工夫が必要。
- 例：
 - 自己紹介+受講の目的を一言ずつシェア
 - 「今日は気持ちを軽くする時間です」と安心感を与える言葉

② 時間配分のシミュレーション

- 初回は特に「予定通り進むか」を事前にテストする。
- 90分なら：
 - 導入・共感ストーリー（15分）
 - 知識・方法の紹介（20分）
 - ワーク実践（30分）
 - シェア・まとめ（20分）
 - クロージング・次回案内（5分）

③ フィードバック回収の仕組み

- モニターは講座ブラッシュアップの宝。
- 終了後に感想をもらうことで、次回以降の訴求に直結する。

例：簡易アンケート

- 今日受講してよかったです？
- 印象に残ったスライドやワークは？
- 講座を受ける前と後で、どんな変化がありましたか？
- もっと知りたい・やってみたいことは？
- この講座を友達に勧めるとしたら、どんな言葉で伝えますか？

ビジネス戦略の観点での準備

① 講座 PR に使える素材を意識

- モニター受講時は、
 - スライド、ワーク、受講風景、感想がそのまま PR 素材になる。
- 写真・スクショ・感想の活用で、次の募集がスムーズに。

② モニター後の流れを設計

- 「次回も参加したい」と思わせるには、初回後のフォローが鍵。
- フォロー例：
 - 講座まとめの PDF or ワークシートの送付
 - 「次回は〇〇をやります！」の予告
 - 個別フィードバックメッセージ

③ 自己評価のポイントを決めておく

- 講座後に「できた・できなかった」で落ち込むよりも、
 - 参加者が笑顔だったか？
 - ワークで気づきを得たか？
 - 次につながるフィードバックがもらえたか？

この 3 点だけを指標にするとメンタルが安定する。